

# ザンビアからみたアフリカ州

**目的:** アフリカが貧困と言われている理由を、ザンビアの国を例として、4つの資料を読み取り、説明することができる。【資料活用の技能】【思考判断表現】

**対象:** 中学生以上

**時間:** 50分

**準備するもの:** 視点の違う4枚の資料(エキスパート資料〇貢ご参照)

**学習の流れ**

時間 (分)	学習者の活動				進め方とポイント								
導入 (5 分)	課題の提示 <b>【学習課題①】</b> <b>なぜアフリカは、貧困といわれているのか？ -ザンビアを例に-</b>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・アフリカと聞いてイメージすることから学習課題を設定</li> </ul>								
展開 ① (20 分)	4つのエキスパート資料を参考に、学習課題①に取り組む <b>【エキスパート活動: ザンビア】</b> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>エキスパート ④ 【地理的位置と物流】</th> <th>エキスパート ⑤ 【教育事情】</th> <th>エキスパート ⑥ 【保健・衛生問題】</th> <th>エキスパート ⑦ 【経済事情】</th> </tr> <tr> <td>ザンビアは内陸国そのため、輸送にコストがかかり、他国との協力なしには貿易が成り立たない現状</td> <td>初等教育から中等教育に進む段階で様々な理由により就学する生徒が極端に減ってしまう現状</td> <td>HIV陽性者が7人に1人に達し、働き盛りの年齢の減少が深刻な問題で、平均寿命50歳未満という現状</td> <td>ザンビアの経済は60%以上を銅に依存しており、銅の価格によって経済状態が左右される現状</td> </tr> </table> <b>【ジグソー活動: エキスパート活動の考えを統合して、課題を解決していく】</b> 課題を解決するにあたり、ザンビアの地理的位置と物流の関係、初等教育から中等教育へかけての就学率の低下が引き起こす識字率の問題、医療不足とHIV感染症による働き盛り(若年層人口)の減少、銅に依存するモノカルチャー経済などの問題等、それぞれ4つのエキスパート資料から貧困といわれている理由を導き出すことができる。 <b>【クロストーク活動】</b> 4×10グループ 各班でまとめた考えを発表し、全体で共有する				エキスパート ④ 【地理的位置と物流】	エキスパート ⑤ 【教育事情】	エキスパート ⑥ 【保健・衛生問題】	エキスパート ⑦ 【経済事情】	ザンビアは内陸国そのため、輸送にコストがかかり、他国との協力なしには貿易が成り立たない現状	初等教育から中等教育に進む段階で様々な理由により就学する生徒が極端に減ってしまう現状	HIV陽性者が7人に1人に達し、働き盛りの年齢の減少が深刻な問題で、平均寿命50歳未満という現状	ザンビアの経済は60%以上を銅に依存しており、銅の価格によって経済状態が左右される現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「問い合わせるために見方をずらした資料を提供</li> <li>・なぜ、教師が見方をずらした資料を提供するかというと、見方が異なることで生徒間の対話が起こり、対話によって自己の考えが磨かれるという学習科学の知見を参考にしている。</li> <li>・どんな表現が個々の生徒にしつくりくるのかについては人それぞれなので、教師が言い方をまとめてはいけない。</li> </ul>
エキスパート ④ 【地理的位置と物流】	エキスパート ⑤ 【教育事情】	エキスパート ⑥ 【保健・衛生問題】	エキスパート ⑦ 【経済事情】										
ザンビアは内陸国そのため、輸送にコストがかかり、他国との協力なしには貿易が成り立たない現状	初等教育から中等教育に進む段階で様々な理由により就学する生徒が極端に減ってしまう現状	HIV陽性者が7人に1人に達し、働き盛りの年齢の減少が深刻な問題で、平均寿命50歳未満という現状	ザンビアの経済は60%以上を銅に依存しており、銅の価格によって経済状態が左右される現状										
展開 ② (20 分)	<b>【発展課題】</b> <b>アフリカの貧困をなくすためにできること -ザンビアを例に-</b> これまで学んだことを生かし、国(政府)や民間企業、私自身というそれぞれの立場にたって考える				<ul style="list-style-type: none"> <li>・フリートーク後、再度「問い合わせ」を個に返し、授業の終わりに自分の考えを書かせる。授業前後の生徒の変容がみどりの中心</li> </ul>								
まとめ (5分)	アフリカの貧困をなくすためには、どのような関わりが必要になってくるのかを考える。最終的には、経済的な理由だけで貧困は不幸せといえるのかを「ザンビア日記」から考えさせる。												

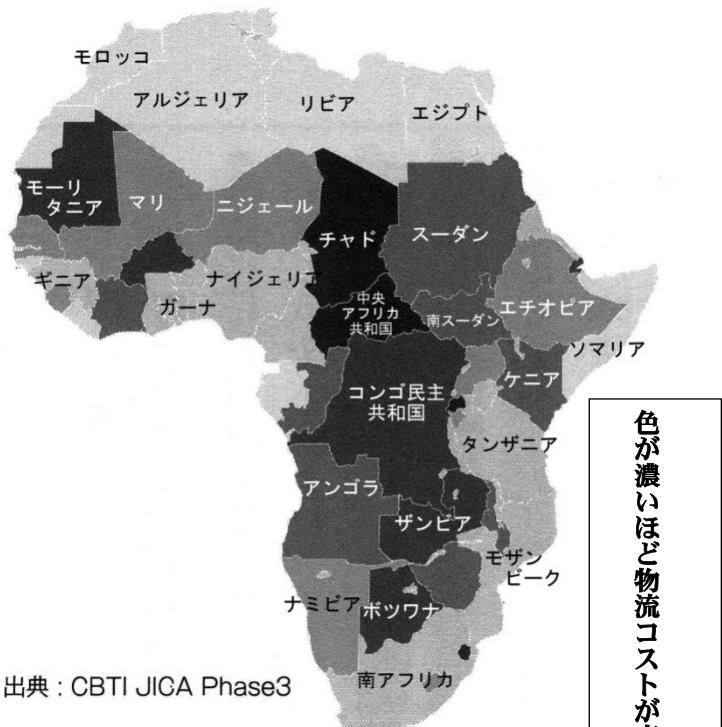
## ザンビアってどんな国？

-地理的位置と物流コスト-



- 面積→日本の約 **2倍**
- 人口→日本の約 **1/10**
- 民族→**73** 部族
- 言語→**英語**(公用語)

[アフリカの物流コスト]

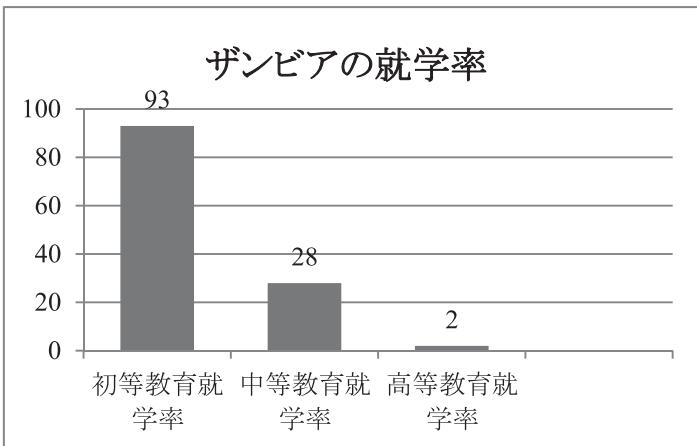


アフリカ大陸は巨大で、ヨーロッパとアメリカ・中国・日本を足した面積よりも大きい。  
このため、移動手段や輸送手段には、車や鉄道などの交通手段が欠かせません。

アフリカの物流コストの地図を見て、薄い色の部分と濃い色の部分で気づくことは何か  
(※物流コストとは、「モノ」を運ぶためにかかる費用のこと)



## ザンビアの教育事情



### ザンビアの初等

教育就学率は、約 93%。しかし、卒業まで在学する率は 53%と低く、様々な理由で就学する人数が極端に減ってしまう。

初等教育 7 年・中等教育 5 年

高等教育(大学や専門分野)

成人識字率: 71%

出典: ユニセフ世界子ども白書 2013



青空教室



小林隊員による授業の様子

上の左右共に、教師海外研修(ザンビア)にて撮影

ザンビアの子ども達が、様々な理由で学校に行けなくなると、将来どのような影響があるだろう?

近年の経済発展に伴う国民の生活レベルの向上でほとんどの子どもたちが小学校に入学できるように成りつつあります。しかし、急増する生徒を受け入れるための教室の確保や教科書・教材の提供が遅れているのが実情です。私たちが視察したプライマリースクール（小学校）とコミュニティースクール（通常学校に通えない生徒）2校でも机上には教科書がなくペンを持っていない生徒もいました。コミュニティースクールでは青空教室で机が揃わない子もいました。また、生徒数の増加に対応するための教員の育成も課題となっています。ザンビア政府は教員養成大学の再編成など努力をしていますが大学で十分な知識や技能を身につけた教員が育成されるまでにはまだ時間がかかりそうです。小林隊員の話ではコミュニティースクールの先生方は、ほぼ無資格で教えている現状でした。教師力不足も、ザンビアの教育における大きな課題となっているように感じました。（ザンビア研修員報告より）

## ザンビアの保健・衛生問題

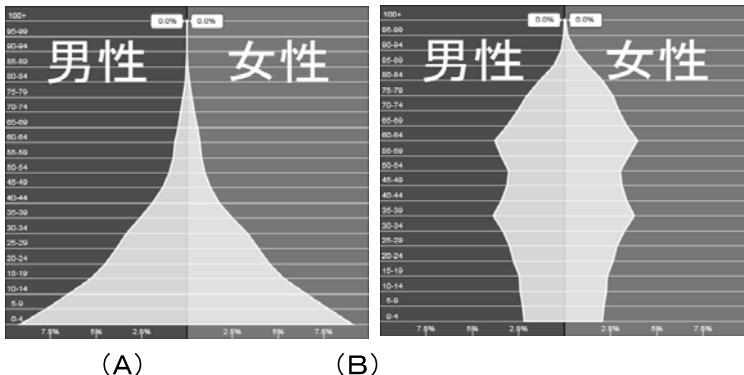
ザンビアでは、成人男性の 10 人に 1 人以上はHIVウイルスに感染しているとされ、病気によって体の抵抗力が落ちるため、結核やマラリアなどで命を落とす人も少なくない

ADE	1	2	3	4	5	6	7	8	9
OVS	151	169	177	202	145	169	176	21	69
RLS	180	180	176	168	168	194	22	74	
TAL	331	349	355	370	313	337	370	43	143
AND TOTAL:	2609								

2013/08/05 12:02

この数字はいったい何だろう？

教師海外研修(ザンビア)にて撮影



左は、ザンビアと日本の人口ピラミッドです。国連の発表によると 2005～2010 年にかけての平均寿命は、

日本 82 歳／ザンビア 46 歳であった。

URL : <http://populationpyramid.net/ja/ザンビア/>

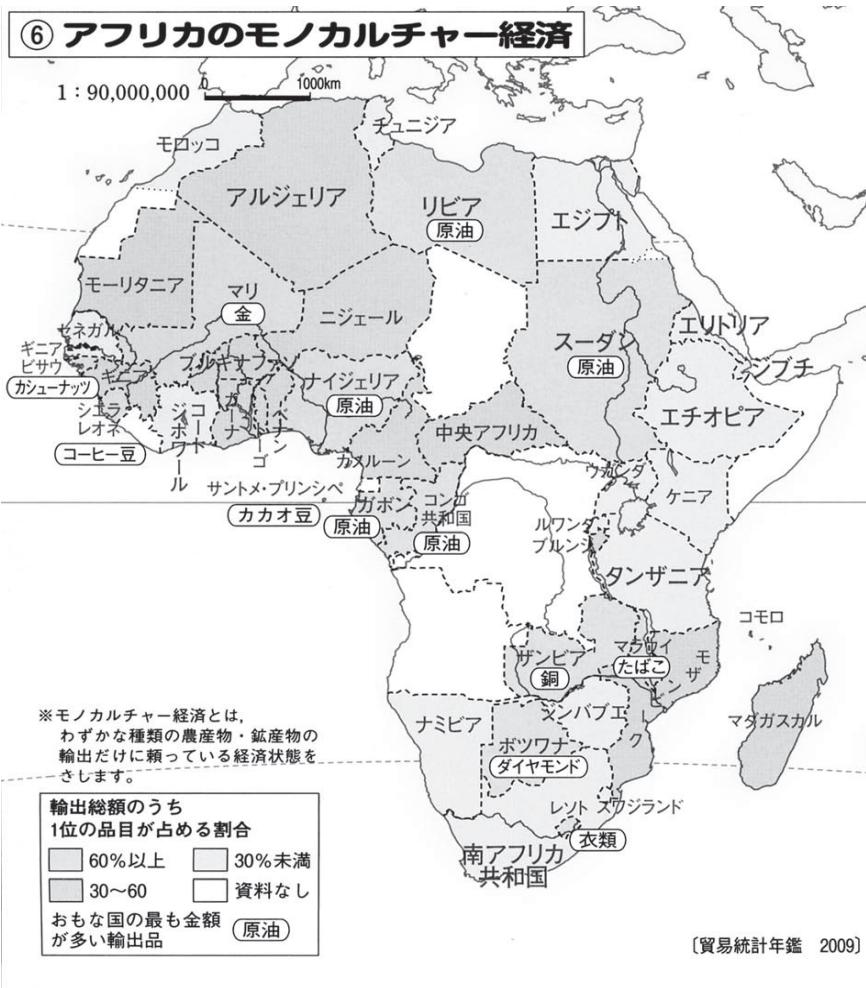
### 〔ザンビア HIV の現状〕

ザンビアの HIV 陽性者は約 98 万人いるといわれ、成人(15～49 歳)の約 13.5%(7 人に 1 人)に達しており、若くして亡くなる場合が多い。また、エイズにより、両親または片親を亡くし、祖父母やおじおばに引き取られる、もしくは兄弟で暮らす「エイズ孤児」が推定で約 69 万人いると言われている。子どもが世帯主となる家庭もあり、事態は深刻だ！

ザンビアの平均寿命が低い原因は何か？また、若年層の減少が社会に与える影響を考えよう

日本人が知っておきたい「アフリカ 53ヶ国」のすべて PHP文庫 平野克己(著)より

## ザンビアの経済事情



ナイジェリア 499億ドル

原油	84.5%	その他	15.5
----	-------	-----	------

ケニア 45億ドル

茶	20.0%	切り花	9.5	その他	61.1
野菜	5.0	コーヒー豆	4.4		

コートジボワール 103億ドル

カカオ豆	25.3%	13.7	原油	11.1	その他	40.7
石油製品					アスファルト・タールなど	4.4

ザンビア 43億ドル

銅	67.0%	その他	23.9
コバルト鉱	2.4		

↑ ⑤アフリカ各のおもな輸出品  
(2009年) (UN comtrade)

アフリカ各のおもな輸出品のグラフから、ザンビアについて気づくことは何か？

また、特定の作物や鉱産資源に頼るモノカルチャー経済には、どのような課題があるか？